

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	果樹園芸各論						授業形態		講義	
科目コード	710031	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員			アクティブ ラーニング	
担当教員名	前田 隆昭								ICT活 用	
授業概要	本授業の目的は、落葉果樹および常緑果樹を対象にそれらの来歴、品種、生理生態的特性について個別に解説することにより、「果樹園芸総論」で修得した基礎知識をさらに深めることである【知識・理解の育成】。果樹園芸各論では、各果樹の生産場面における栽培技術的特徴や問題点を紹介することにより、応用学問としての理解をさらに深める【知識・理解の育成】。									
関連する科目	2年次前期の果樹園芸総論を受講しておくことが望ましい。									
授業の進め方 と方法	毎回、授業の始まりに、前回の復習を兼ねて小テストを行う【知識・理解の育成】。その後、小テストについて解説した上で、授業を始める。授業はパワーポイントを用いて行う。									
授業計画 【第1回】	第1回 概説およびリンゴ〔講義のはじめに、成績評価の解説を行う〕 （リンゴの来歴と現況、品種、栽培経営上の特徴、台木と繁殖、袋掛け栽培等について学ぶ。）									
授業計画 【第2回】	第2回 ナシ （ナシの来歴と現況、品種、栽培経営上の特徴等について学ぶ。）									
授業計画 【第3回】	第3回 カキ （カキの来歴と現況、甘ガキ品種と渋ガキ品種、栽培経営上の特徴等について学ぶ。）									
授業計画 【第4回】	第4回 ブドウ （ブドウの来歴と現況、栽培経営上の特徴、生食用品種、醸造用品種等について学ぶ。）									
授業計画 【第5回】	第5回 モモ （モモの来歴と現況、分類、品種、栽培経営上の特徴、生理障害等について学ぶ。）									
授業計画 【第6回】	第6回 スモモ （スモモの来歴と現況、自然分類、品種、栽培経営上の特徴等について学ぶ。）									
授業計画 【第7回】	第7回 ウメ （ウメの来歴と現況、自然分類、品種、栽培経営上の特徴等について学ぶ。）									
授業計画 【第8回】	第8回 オウトウ （オウトウの来歴と現況、自然分類、栽培経営上の特徴等について学ぶ。）									
授業計画 【第9回】	第9回 アンズ （アンズの来歴と現況、自然分類、栽培経営上の特徴等について学ぶ。）									
授業計画 【第10回】	第10回 クリ （クリの来歴と現況、自然分類、栽培経営上の特徴等について学ぶ。）									

授業計画 【第11回】	第11回 クルミ (クルミの来歴と現況、自然分類、栽培経営上の特徴等について学ぶ。)
授業計画 【第12回】	第12回 堅果類 (堅果類の来歴と現況、自然分類、栽培経営上の特徴等について学ぶ。)
授業計画 【第13回】	第13回 イチジク (イチジクの来歴と現況、栽培経営上の特徴等について学ぶ。)
授業計画 【第14回】	第14回 キウイフルーツ (キウイフルーツの来歴と現況、栽培経営上の特徴、品種等について学ぶ。)
授業計画 【第15回】	第15回 ウンシュウミカン (ウンシュウミカンの来歴と現況、栽培経営上の特徴、品種等について学ぶ。)
授業の到達目標	各果樹の由来や特徴を学習し、産業としての果樹栽培の知識を習得し、生産物である「果物」に興味を持つようになることである。 【専門分野のスキルの獲得】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)
授業時間外学習【予習】	授業中に予習箇所を指示するので、次回の講義までに予習しておくこと(約1時間)
授業時間外学習【復習】	毎回、講義の最初に小テストを行うので、前回の講義内容について復習しておくこと(約1時間)。
課題に対する フィードバック	小テストおよび最終試験は、終了後解説する。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 受講態度および小テスト-43点 2) 最終試験-57点
テキスト	特になし
参考書	・杉浦 明 他 編 「果実の事典」 朝倉書店 ・米森 敬三 編 「果樹園芸学」 朝倉書店 ・杉浦 明 編 「新編 果樹園芸ハンドブック」 養賢堂 ・志村 勲 他 著 「果樹園芸(第2版)」 文永堂出版 ・間苧谷 徹 他 著 「新編 果樹園芸学」 化学工業日報
備考	